

安全データシート

SAFETY DATA SHEET

作成日 2006/10/01

改訂日 2025/05/31

1 化学品及び会社情報

化学品の製品名 : KH イオン

会社名 : 株式会社ソディック
担当部署 : CS 事業部 サプライ CC 課
住所 : 〒919-0598 福井県坂井市坂井町長屋 78
電話番号 : 0776-68-0030
FAX 番号 : 0776-68-8078
緊急連絡電話番号 : 0776-68-0057

整理番号 : SDS-IE01-J11

2 危険有害性の要約

GHS 分類
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2A
本製品は目との接触により強い刺激性を与える(H319)

GHSラベル要素



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 混合物は分類基準を満たしていない。

注意書き

安全対策 : 産業衛生に気を配る。
応急措置 : 取り扱った後、手を洗うこと。
保管 : 避けるべき物質の近くに保管しない。
廃棄 : 廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。
GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 知見無し

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 : 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

3. 組成及び成分情報

一般名 : 強酸性陽イオン交換樹脂と強塩基性陰イオン交換樹脂の混合物
化学名 : ポリビニルベンジルトリメチルアンモニウムヒドロキシドとスチレン・ジビニルベンゼン共重合物のスルホン酸化物の混合物

既存化学物質番号 : 社外秘
含有率 : 35-60%
安衛法 : 該当せず
その他の成分 : 水(含有率は 40-65%)

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : せっけん水と水で洗い流す。刺激が強まったり続いたりする場合には医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 : 水で洗う。刺激が強まったり続いたりする場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

応急処置をする者の保護 : 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気を付ける。

医師に対する特別な注意事項

症状にあった治療を施す。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素(CO₂)。
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
- 特有の消化方法 : 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
- 消化を行う者の保護 : 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
- 一般的な火災の危険性 : この製品は引火性ではない。熱分解や燃焼で二酸化炭素や他の有毒ガス、蒸気を放出することがある。
- 特定の消化方法 : 通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本 SDS の項目 8 を参照。
- 環境に対する注意事項 : 下水や水路、地面に排出しない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 大量の露出については、可能な場合は漏出物をせき止める。こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本 SDS の項目 13 を参照。
- 二次災害の防止策 : 知見なし

7 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
 - 技術的対策(局所排気, 全体換気等) : 特別な推奨はない。
 - 安全取扱い注意事項 : 産業衛生に気を配る。
 - 接触回避 : 強酸化剤。硝酸。詳細については、本 SDS の項目 10 を参照。
 - 適切な衛生対策 : 本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。
- 保管
 - 安全な保管条件 : 混触禁止物質から離して保管すること(本 SDS 項目 10 を参照)。
 - 安全な容器包装材料 : 元の容器に密閉して保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度(暴露限界値)及び管理濃度設備対策 : 含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
- : 適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。
- 保護具
 - 呼吸器の保護具 : 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。
 - 手の保護具 : 皮膚接触を防止するために保護手袋を着用しなければならない。
 - 特定の推奨事項 破過時間 : >10 分。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらってもできる。
 - 目の保護具 : 接触の可能性がある場合、サイドシールドのついた安全メガネが望ましい。
 - 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

9 物理的及び化学的性質

- 外観 : 球状ビード、淡黄白色・淡褐色・濃褐色の混合
- pH : 酸性およびアルカリ性
- 融点 : 該当せず
- 沸点 : 該当せず

引火点	: 該当せず
自然発火点	: 該当せず
燃焼性	: 該当せず
酸化性	: 該当せず
爆発性	: 該当せず
蒸気圧	: 水に近似
蒸気密度	: 該当せず
蒸発速度	: 該当せず
比重	: 1.05~1.28
溶解性	: 水および溶媒に不溶
分配係数(n-オクタノール/水)	: データ無し
分解温度	: 該当せず
粘度	: 該当せず
蒸発容量	: 該当せず

10 安定性及び反応性

安定性	: 通常の保管、輸送、使用条件で安定。
避けるべき条件	: 濃硝酸および強い酸化剤との接触、加熱、火を付けること、高温での引火、を避けること。

熱分解および燃焼により二酸化炭素や他の有害な気体および蒸気を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	: 急性毒性を示す証拠は無い。
発がん性	: 発がん作用を示す証拠は無い。
催奇形性	: 生殖影響を示す証拠は無い。
変異原性	: 変異原効果を示す証拠は無い。

12. 環境影響情報

毒性を示すデータは無い。	
残留性・生分解性	: データ無し、生分解性は示さない。
生体蓄積性	: データ無し
その他環境への有害性	: データ無し

13. 廃棄上の注意

製品廃棄に関しては、都道府県および市町村の自治体の条例等に従い廃棄する。
廃棄方法に関しては特別な方法は不要。

14 輸送上の注意

道路及び鉄道輸送に関する分類	: 規制されていない。
海上輸送に関する分類	: 規制されていない。
航空輸送に関する分類	: 規制されていない。

15 適用法令

労働安全衛生法	
通知対象物質	: 該当せず
表示対象物質	: 該当せず
毒物及び劇物取締法	
特定毒物	: 該当せず
毒物	: 該当せず
劇物	: 該当せず
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	
第一種特定化学物質	: 該当せず
第二種特定化学物質	: 該当せず
監視化学物質	: 該当せず

優先評価化学物質	: 該当せず
化学物質排出把握管理促進法、2023(令和5)年4月1日(施行日)	
特定第一種指定化学物質(物質名、政 令番号、含量)	: 該当せず
第一種指定化学物質(物質名、政令番 号、含量)	: 該当せず
第二種指定化学物質(物質名、政令番 号、含量)	: 該当せず
消防法	: 消防法の危険物に該当しない。
船舶安全法・危規則	: 該当せず
航空法・施行規則	: 該当せず
火薬類取締法	: 該当せず

16 その他の情報

この製品安全性データシートに記載したデータならびに推奨事項は、現時点において可能な限り入手できる情報に基づいて作成されております。

但し、これらのデータおよび推奨事項の信頼性、安全性について、当社は何ら保証をするものではなく、また、製品安全データシートに記載した内容や安全と考えられない使用方法にて、生じた損害等に対しては、当社責任を負いません。